

お子さまを守るための情報モラル教育について

伊勢市教育委員会

令和7年12月 懇談会等説明資料

スマートフォンやSNSは子どもたちにとって身近な存在です。しかし、便利な一方で、使い方を誤るとさまざまなトラブルに巻き込まれる危険性もはらんでいます。また、スマートフォン使用の低年齢化も進んでいます。

そこで、伊勢市では学校とご家庭が連携し、子どもたちが安全にデジタル社会を生きる力を育む取組を行っています。お子さまのスマートフォンの適切な活用については保護者の責務でもあります。何とぞご協力をお願いします。

学校での取り組み

道徳や様々な教科の学習を通じて「情報モラル」を継続的に指導しています。

ご家庭でもあわせてご指導ください。

・LINEをはじめとするSNSやインターネットの適切な使い方

※小中学校でLINEを通じたトラブルが多く起きています。特に気をつけてください。

- ・個人情報の保護
- ・オンラインでの言葉遣いと思いやりの心
- ・著作権のルール
- ・不適切な画像・映像の送受信

ご家庭でできる3つのこと

子どもたちの安全を守るために、ぜひご家庭でもこれらの点を意識して、お子さまと一緒に考えてみてください。

1. ご家庭のルールを作り、守る

お子さまと一緒に、スマートフォン・SNSを使う時間や場所、使い方について具体的に話し合い、ルールを決めてください。※携帯電話会社から提供されているフィルタリングサービス・ソフトを必ずご利用ください。

2. 親子で「困ったこと」を共有する

インターネット上で何か不安なことや嫌なことがあった時、お子さまが相談できるようお声がけください。SOSを見逃さないことが大切です。

3. 保護者の方も学び続ける

デジタル環境は日々変化しています。保護者の方も、新しいサービスやトラブルの事例に関心を持ち、学び続ける姿勢が、お子さまの安全を守ることに繋がります。

どうぞよろしくお願いいたします。

◎裏面に三重県教育委員会作成の子どもたちを守るための「5つの問いかけ」を掲載しています。話し合いの参考にしてください。

スマホやネットを使う子どもたちを守るための

5つの

問いかけ



問いかけ

1

マナーや時間を守っていますか？



- ・スマホを操作しながら歩いたり自転車を運転したりすると、事故を起こしたり相手にケガをさせたりする場合があります。
- ・電車やバスなど車内での通話は、迷惑やトラブルの原因になります。
- ・スマホやネットの長時間使用は、学習時間を妨げたり、睡眠不足から体調を崩す場合もあります。

問いかけ

2

送信する前に見直していますか？



- ・お子様がそう思っていなくても、伝え方を間違えると人を傷つけてしまうなど、いじめにつながる場合もあります。
- ・悪ふざけの投稿がきっかけで、事業者などに大きな損害を与えてしまう場合もあります。
- ・自分が好きなアニメやマンガなどのキャラクターを、勝手に投稿すると著作権侵害になります。また、友だちの写真を載せる時には、許可が必要です。

問いかけ

3

個人情報や載せたり送ったりしていませんか？



- ・名前、住所、顔写真、ユーザーIDなどの個人情報を気軽に教えてしまうと、悪用される場合もあります。
- ・送信した写真の位置情報や背景などで、場所が特定される場合があります。
- ・信用できる人だと思って、他人には見られたくない写真や動画を送ると、知らないうちにネット上に広まる場合もあります。

問いかけ

4

ネットで知り合った人と会おうと考えていませんか？



子どもたちは「信用できそうな人だから」「自分だけは大丈夫」と思いがちです。ネットで知り合った人の中には、全くの別人になりすましたり、言葉巧みに子どもたちを信用させたりして、誘い出そうとする人もいます。

問いかけ

5

自分やまわりの人のことを大切に考えて使っていますか？



ネットに載せたものは、一度流出すると完全には削除できません。軽はずみな気持ちで投稿した悪ふざけの写真や動画などが原因で、お子様やまわりの人が、傷ついたり悲しんだりする可能性があります。